



川田龍平 講演会

# 動けば変わる

～人権やいのちが大切にされる社会に向けて～

「薬害エイズ」「C型肝炎」など、国が引き起こした薬害の問題は責任の所在が不明瞭のまま。安心して暮らすことさえ脅かされる社会。

わたしたちのいのちが大切にされるには？ 生きることが楽しいと思える社会にするには？ 薬害エイズをめぐる現在までの状況をふり返り、「利権」ではなく、生きる「権利」が大切にされる社会に向けて、わたしたちができることを川田龍平さんと共に考えます。



**日時： 2009. 10. 3 (土) 14:00～16:00 (13:30 受付開始)**  
**場所： 東京 YWCA 会館 (JR 御茶ノ水駅 4 分)**  
**講師： 川田 龍平氏 (参議院議員・薬害エイズ訴訟 (東京 HIV 訴訟) 原告)**  
**参加費： 一般 ¥1,500 会員・学生 ¥1,000 (全て税込)**  
**申込方法： お電話/E-mail/窓口でお申し込みの上、銀行からお支払い**  
**ください (裏面参照)。 定員になり次第締め切らせていただきます。**

☆プログラム☆ (予定)

川田龍平さんのお話 75分  
 休憩 15分  
 質疑応答 30分

東京 YWCA

主催：女性と少女の人権事業  
HIV/AIDS 啓発のための人材育成プロジェクト

〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-8-11  
 tel. 03-3293-5422 fax. 03-3293-5570  
 e-mail. hiv@tokyo.ywca.or.jp  
 www.tokyo.ywca.or.jp



## 《川田龍平氏プロフィール》

生後6ヶ月で血友病と診断され、治療のために投与した輸入血液製剤によりHIVに感染。高校3年生で「薬害エイズ事件」の国と製薬会社の責任を問う東京HIV訴訟の原告に加わり、95年実名を公表。訴訟に実質原告勝訴の形で和解したが、それ以後も現在まで薬害エイズの真相究明と責任を追及し続けている。東京経済大学を休学しドイツのケルンに留学したが、2000年9月、母親である川田悦子の衆議院議員東京21区補欠選挙への立候補に伴い急遽帰国、日本の現状を変える一石となるため活動開始。2003年4月から松本大学、非常勤講師。世界経済フォーラムが選ぶ「Young Global Leaders」に選ばれる。2007年7月 参議院議員選挙に東京選挙区から無所属で立候補し当選。参議院環境委員会に所属。患者の権利を守るための法律の立法化に向け活動中。

お電話/ファックス/Emailにてお申し込みの上、以下までお振込みください。受領書は金融機関の払込金受領証をもって代えさせていただきます。

お支払い済の参加費は、主催者のやむを得ない事情でキャンセルとなった場合には払い戻しいたします。

### 《お申込み・お問合せ》

東京YWCA 女性と少女の人権事業

『HIV/AIDS啓発のための人材育成プロジェクト』

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11

Tel: 03-3293-5422 Fax: 03-3293-5570

Email: [hiv@tokyo.ywca.or.jp](mailto:hiv@tokyo.ywca.or.jp)

### 《お振込金融機関》

みずほ銀行 九段支店 普通預金 773773

財団法人 東京基督教女子青年会

(ザイダンホウジン トウキョウキリストキョウジョシセイネンカイ)

※お振込の際には振込名義人の前に「04」とご入力ください。

例:トウキョウ ワイコ ⇒ 04トウキョウ ワイコ



東京YWCA 女性と少女の人権事業

★HIV/AIDS啓発のための人材育成プロジェクト★

このプロジェクトは、HIV/AIDSの啓発活動を通し、HIV/AIDSに対して弱い立場にあるといわれる若い女性のリーダーシップとエンパワメントを促進することを目的としています。講演会の収益は、当プロジェクトの事業のために使わせていただきます。

## 参加者アンケートから

当日は、20～70代と多くの年代の参加者が集いました。

### 参加のきっかけ

- ・「動けば変わる」のタイトルにひかれた
  - ・人権問題に興味があった
  - ・川田さんの考えや思いを知りたかった
- など

### 参加して

- ・企業や国の利益優先の社会から、一人一人の人権が尊重される意識・環境づくりを考え、行動することの大切さに気づかされた。
- ・政治に無関心ではいけないという自覚が芽生えた。
- ・お話がわかりやすくて大変よかった。
- ・「色々な人が色々な声をあげていく」という言葉が印象的だった。運動が続いていくうちに、人々の意見が画一的になってしまうことがあるけれども、ひとつひとつの声が大切だと思った。
- ・川田さんのがんばりを知り、私も「動く」ことにより関心を持った。